

IV 自由意見

3 結婚観や家庭生活について

【女性 20 歳代】

- ・ 男性が仕事をがんばり、おのずと女性が安心して出産・育児に専念できる社会になってほしいです。その後、女性も社会復帰できるようにしてほしいです。スウェーデンみたいな社会がよいです。

【女性 30 歳代】

- ・ 子どものいる家庭で男女ともに平等に働き、家事と育児をすることは不可能だと思います。周囲に手伝ってくれる人(両親など)がいれば、急な子どもの病気などにも対応できますが、男女平等とよく言われる近年ですが、それによって子どもが犠牲にならないように、自分たちの子なのだから夫婦のどちらかが仕事の時間を減らしてでも子どもとしっかり向き合って育てていくことが子どもの将来の生き方にも繋がると 생각합니다。保育サービスや小学校低学年の学童保育の充実もとても重要ですが、小さい間はしっかりと子と親の時間を持つことが大切だと思います。
- ・ 私たちより年上、年配の世代の方には、まだまだ「男が上、女が下」と当たり前前に考えている方が多いように思います。子どもたちに「男女は平等」と教えることも大切ですが、年配の方にも「男女は平等」で家事や育児を手伝うことは当たり前だと理解してもらうことが大切だと思います。育児に関わることについては「女がすること。手伝ってほしいというのは、さぼっている。母親失格。」というように考えられていると思います。
- ・ 職場においてはまだ男女間での差を感じていますが、地域や家庭においては改善されていると思います。今、夫婦別姓のことが議論されていますが、家族で姓が別々なのは、私は反対です。

【女性 50 歳代】

- ・ 基本は、自分のことは自分でするということが当たり前になるように子どもを育てることが必要です。大人になると、常に意識しないと家事等は、女性任せになるので、親になる前に、男性には特に日常生活に必要なことを知ってもらう、実習してもらうことが必要です。何でも半分ずつというのは現実的には無理ですから、お互いに相手に思いやりを持つこと、未来に希望が持てることが大事です。キーワードは「希望」です。
- ・ 私の中では、まだ理想と現実のギャップが大きいです。理想では夫婦で協力して家事や育児をするのがよいのですが、今の社会ではやはり男性の仕事は責任感が大きいし、見ていて大変だと思います。私は古い人間かもしれませんが、疲れて帰ってきた人に「やってほしいこと」でもお願いするのは気がひけます。

【女性 60 歳代】

- ・ 61 歳と 67 歳の夫婦です。子育て、両親の介護と精一杯努めてきましたが、私たちは両親の世話をする時は介護サービスなどがなく、すべて嫁の仕事でした。主人は定年までは企業で精一杯勤め、とても家庭を顧みただけの体力はなく、休日は休養しないと仕事が続けられないほどだったと思います。息子たちは独立して家庭を持ちましたが、職場で精一杯働くため、休日は休養しないと体力的にとっても心配です。主人は家事をほとんどしたことがないので、これから老後はお互い家事の分担をして、病気になった時でも支えあえる夫婦でありたいと思います。主婦の仕事は丁寧にすれば、限りがない位たくさんありますが、自分の健康保持に努めて、時々休養して夫婦が共に元気でありたいと願っております。老後は夫婦で支えあっていくのが一番よい方法だと最近実感しております。
- ・ 家庭が大切だと思います。問 20 の中に「2. 7」など、いろいろな生き方がある中で男性をたてていくことが必要です。世の中の移り変わりで女性が前に立っていくことに賛成では

ありません。家庭の中で子どもが両親を尊敬し夫婦が仲よくすることが大切だと思います。男性が消え、女性が前に出ることにごく寂しく、世の中が荒んでいくことで孫たちがこれからどうなっていくのかと思います。いろいろな家庭や生き方がありますが、男性が栄えていく家庭の方が安定すると思います。勉強になりました。ありがとうございます。

【女性 70 歳代以上】

- ・ 結婚 50 年、今思うと本当に辛かったです。何もかも女任せ、自分はいいところ取りばかり。やはり夫婦は他人です。子ども、孫、ひ孫がいるので心が休まります。今はそれだけです。生活力があれば離婚していたでしょう。

【男性 40 歳代】

- ・ 必要性がないとは言いませんが、本当に必要なのか疑問を感じないわけでもありません。大半の女性がそう思っているのでしょうか。男性並みに家庭を犠牲にした場合(休日や時間外労働など)、失うものがより大きくなるように思えます。
- ・ 法律によらない、確実に日本の文化的・社会的な習慣などもふまえ、互いが心地よい男女平等社会をつくるのが大切だと思います。女性は女性の視点、男性は男性の視点から物を見てしまいがちですが、改めたいと思いました。ひとつの問題として行政が家庭の夫の役割・妻の役割をどうのこうのというのはやめてほしいと思います。個人の幸福感など、思想・信条まで干渉するのは問題であり、行き過ぎとも思います。今ある家庭を崩壊させるような危惧もあるように思います。

【男性 50 歳代】

- ・ そもそも男女共同参画社会の実現に向けたというあたりが、男尊女卑になっていると思います。くだらない男性に限って、家で横柄な態度をとり、女性は黙って動いているのが事実でしょう。

【男性 60 歳代】

- ・ まともな仕事がない、派遣やパートで結婚など考えられない子どもが増えているのではないのでしょうか。(当然ですが)本人の働きだけでは結婚生活はやっていけません。当然子どもの数も少なくなります。将来、介護・医療など不安がいっぱいです。社会保障が確立されていません。

【男性 70 歳代以上】

- ・ 現在の社会はあまりにも男性だ、女性だ、平等だ、と意識の度が過ぎて乱れがちです。男女共同参画社会は不自然でなく、自然の節理（摂理）に沿った男女の意識改革が必要ではないのでしょうか。それには家庭内の子どもの教育が一番大事で、父母の生活態度が重要になってきます。「子どもは親の背中を見て育つ」という昔の人の言葉が、今も重みと光を放っています。